

研究活動 Research Activities

大屋美那 / Mina OYA

[展覧会企画]

「フランク・ブラングイン展」(2010年2月23日-5月30日)企画・構成・監修

[執筆・監修・編集]

作品解説:『かたちは、うつる』展カタログ、国立西洋美術館、2009年
編集:『フランク・ブラングイン展』カタログ、大屋美那編、国立西洋美術館、2010年

論文:「ヴェネツィア、ヘント、パリ—共楽美術館設計に向かって」
『フランク・ブラングイン展』カタログ、国立西洋美術館、2010年、pp.72-77

論文英訳:“Venice, Ghent, and Paris: Designing the Kyoraku Bijutsukan (Sheer Pleasure Arts Pavilion)”, ex.cat. *Exhibition of Frank Brangwyn*, National Museum of Western Art, Tokyo, 2010, pp. 229-233

作品解説:『フランク・ブラングイン展』カタログ、国立西洋美術館、2010年

関連年表編集:『フランク・ブラングイン展』カタログ、国立西洋美術館、2010年、pp.188-199

関連年表英訳:“Biography”, ex.cat. *Exhibition of Frank Brangwyn*, National Museum of Western Art, Tokyo, 2010, pp.236-242

参考文献共同編集:『フランク・ブラングイン展』カタログ、国立西洋美術館、2010年、pp.200-213

CG製作監修:「共楽美術館」アートアンドサイエンス社製作、国立西洋美術館『フランク・ブラングイン展』にて放映、2010年

エッセイ:“Vingt ans de Rodin au Japon”, *Mélanges offerts à Jacques Vilain, Naissance de la Modernité*, Editions du relief, Paris, 2009, pp.304-306

松方コレクションに関する資料の収集と整理

[普及活動]

フランク・ブラングイン展講演会「壁面装飾とブラングイン—共楽美術館へ」2010年3月27日、国立西洋美術館講堂

春・音楽祭「フランク・ブラングイン展レクチャー&コンサート」2010年3月31日、国立西洋美術館講堂

「フランク・ブラングイン展」『うえの』No. 611 (2010年3月)、pp.39-40

「ブラングインの版画」『版画芸術』No.147 (2010年春号)、p.103

「今、『フランク・ブラングイン展』」『文科時報』2009年12月号、p.80

「フランク・ブラングイン展」『文化庁月報』2010年2月号、p.43

「フランク・ブラングイン展」『美術の窓』2010年2月号、p.14

[版画素描室の活動]

作品購入に関する業務

版画素描データベース管理

版画素描閲覧者対応

[その他]

本館保存活用ワーキンググループ委員

日本女子大学教養科目非常勤講師

河口公男 / Kimio KAWAGUCHI

[修復処置]

絵画:油彩画3点

額縁:11点

彫刻:

ロダン作品(7点)免震滑り板取り付け金物製作

ピストルフィ彫刻《死の花嫁たち》ブロンズ表面洗浄、展示保護用ブロンズ製額制作

[調査研究]

屋内彫刻用簡易すべり板免震装置の神戸波および小千谷波二成分の加震実験の実施(愛知工業大学耐震実験センター 青木徹彦教授指導の元)

[発表]

「国立西洋美術館における彫刻の免震化」J.P.ゲッティ美術館、国立西洋美術館共催国際シンポジウム「美術館・博物館の地震対策」2009年7月

[その他]

J.P.ゲッティ美術館、国立西洋美術館共催国際シンポジウム「美術・博物館所蔵コレクションの地震対策」を企画開催、運営

同シンポジウム報告書の制作

川口雅子 / Masako KAWAGUCHI

[情報資料室の活動]

研究資料センターの公開運用

アーティスト・ファイル書誌レコードの公開

所蔵作品データ整備

国立西洋美術館所蔵作品データベースのパーマリンク機能追加

国立美術館版「想—IMAGINE」との連携検討、試験データ公開

美術館ウェブサイトの公開運用

資料コーナーの公開運用

ファイルサーバー、ドメイン管理等

開館50周年記念誌の準備

[調査活動]

論文:「もう一つの『アルベルティーナ』:第一回国際美術史学会と複製写真」『越宏一先生退任記念論文集:ルクス・アルティウム』東京:中央公論美術出版、2010年、pp. 373-382

報告:「国立美術館・博物館研究員は語る:展覧会でつづる半世紀」『文部科学時報』2009年8月号、no. 1603、p. 79

『国立西洋美術館展覧会総覧 1960 - 2009』について:展覧会レファレンス・ツール作成の試み』『アート・ドキュメンテーション研究』no. 17 (2010年3月)、pp. 64-74

「美術館図書室と一過性資料:国立西洋美術館研究資料センターのアーティスト・ファイル公開について」『アート・ドキュメンテーション通信』85号、2010年、p. 14

口頭発表:『国立西洋美術館展覧会総覧 1960-2009』について:展覧会レファレンス・ツール作成の試み』(アート・ドキュ

メンテーション学会第2回秋季研究発表会、2009年10月17日、国立西洋美術館講堂)

「国立西洋美術館の情報戦略：所蔵作品データベースを中心に」(アート・ドキュメンテーション学会創立20周年記念第4回アート・ドキュメンテーション研究フォーラム、2009年12月4日、東京国立博物館平成館大・小講堂)

[外部資金]

科学研究費補助金研究成果公開促進費(研究成果データベース)「国立西洋美術館所蔵作品データベース」

科学研究費補助金若手研究(B)「美術館の機関アーカイブズに関する調査研究」

科学研究費補助金基盤研究(B)「国立西洋美術館を中心としたル・コルビュジエ作品の文化遺産保存活用に関する調査研究」(研究代表者：東京理科大学 山名善之准教授)

[その他の活動]

講師：「電子的リソース(一次資料)」(全国美術館会議情報・資料研究部会セミナー、2009年11月10日、東京国立博物館小講堂/11日、国立西洋美術館会議室)

「国立西洋美術館がめざす収蔵作品・図書・資料情報サービス」(専門図書館協議会関東地区協議会第15回情報サービス研究会、2010年2月18日、東京商工会議所 403会議室)

他機関との協力：総合芸術アーカイブに関する懇談会、2009年7月9日、東京藝術大学

司会進行：全国美術館会議学芸員研修会、2010年3月12日

研修：国文学研究資料館平成21年度アーカイブズ・カレッジ長期コース受講(分割履修)

学会参加：第75回国際図書館連盟ミラノ大会(2009年8月)

他機関調査：フィレンツェ市内の美術図書館(ヴィラ・イ・タッティ研究所、ドイツ美術史研究所、アンブロジーアーナ図書館、リッカルディアーナ図書館)

全国美術館会議情報・資料研究部会幹事

玉川大学非常勤講師

幸福輝 / Akira KOFUKU

[講演]

「17世紀オランダ絵画の内と外」2009年5月、国立西洋美術館

「レンブラント版画研究：和紙の視点から」2009年12月、ネーデルラント美術研究会(清泉女子大学)

[教育]

成城大学大学院非常勤講師、2009年4月-2010年3月

金沢美術工芸大学非常勤講師、2009年7月

[調査研究]

科学研究費補助金基盤研究(B)海外学術調査「レンブラントおよびレンブラント派における和紙による版画素描作品の研究」(研究代表者)

科学研究費補助金基盤研究(B)「カーレル・ファン・マンデル著『北方画家伝』の成立と影響に関する比較芸術論的研究」(研究分担者)

「レンブラント：光の探求／闇の誘惑」(2011年開催予定)のための準備

[エッセイ]

「静物画に隠された意味」『国立西洋美術館 公式ガイドブック』2009年8月、国立西洋美術館

[翻訳]

カーレル・ファン・マンデル『絵画書』より(2)、『国立西洋美術館研究紀要 no.14』2010年3月

[その他]

お茶の水女子大学文学博士論文審査委員

慶応義塾大学文学博士論文審査委員

鹿島美術財団推薦委員

レンブラントに関する国際シンポジウムの準備

佐藤直樹 / Naoki SATO

[展覧会企画]

「アルブレヒト・デューラー 版画・素描展 宗教／肖像／自然」企画・構成・監修、2010年10月26日-2011年1月16日開催予定

『かたちは、うつる——国立西洋美術館所蔵版画展』展示・カタログ編集(企画・構成：新藤淳)、2009年7月7日-8月16日

[調査研究活動]

国立西洋美術館名作選英語版編集：Masterpieces of the National Museum of Western Art, Tokyo, 2009

作品解説『かたちは、うつる——国立西洋美術館所蔵版画展』カタログ、新藤淳／佐藤直樹編、国立西洋美術館、2009年

「ヴィルヘルム・ヘンゼルとファニー ドイツ・ロマン主義の目撃者」『メンデルスゾーン姉弟の歌曲の魅力』コンサートプログラム、東京藝術大学うたシリーズIX(藝大プロジェクト、メンデルスゾーン生誕200年)、東京藝術大学演奏藝術センター編集、東京藝術大学演奏堂、2009年11月29日、pp. 9-12

「ウィーン美術史美術館所蔵 カルロ・サラチェーニ《ホロフェルネスの首を持つユーディット》について」『越宏一先生退任記念論文集：ルクス・アルティウム』東京：中央公論美術出版、2010年3月

シンポジウム『デューラー受容500年』企画、国立西洋美術館、明治学院大学、ドイツ語圏美術研究連絡網共催、2010年11月13日開催予定

[普及活動]

レクチャー『メンデルスゾーン姉弟の歌曲の魅力』コンサートプログラム、東京藝術大学うたシリーズIX(藝大プロジェクト、メンデルスゾーン生誕200年)、企画：瀧井敬子、東京藝術大学演奏藝術センター編集、東京藝術大学演奏堂、2009年11月29日

[研究企画室の活動]

2008年度国立西洋美術館報No. 43の編集

展覧会企画計画の調整

インターンの採用の調整

客員研究員採用の調整

海外出張の調整

[査読委員]

『東京藝術大学美術学部論叢』第5号、外部査読委員、東京藝術大学美術学部、2009年

[教育活動]

東京藝術大学美術学部芸術学科、特講演習「国立西洋美術館の作品調査研究」2009年4-9月

上智大学大学院文学研究科ドイツ文学専攻、特講演習「芸術」、「デューラーの版画芸術」2009年9月-2010年3月

新藤 淳 / Atsushi SHINFUJI

[展覧会]

「かたちは、うつる——国立西洋美術館所蔵版画展」、2009年7月7日-8月16日

[調査研究活動]

「アルブレヒト・デューラー版画・素描展 宗教／肖像／自然」(2010年10月26日-2011年1月16日開催予定)に関わる作品の調査研究

iPhone/ iPod touch向けの常設展音声映像ガイド「Touch the Museum」の制作およびリリース(3月31日、Apple社のApple Storeにて無料リリース)

[論文・エッセイ等]

「かたちは、うつる」『かたちは、うつる——国立西洋美術館所蔵版画展』カタログ、国立西洋美術館、2009年7月

『「イメージ」への転回の後で』『Review House 03』Review House編集室、2009年12月

「活動する眼、視線のディレンマ——オットー・ベヒトのドイツ絵画論について」『越宏一先生退任記念論文集：ルクス・アルティウム』東京：中央公論美術出版、2010年3月

[教育活動]

『かたちは、うつる——国立西洋美術館所蔵版画展』におけるギャラリートーク、2009年7月10日、8月7日

武蔵大学視聴覚メディア論ゲスト講師「Touch the Museumについて」、2009年12月7日

陳岡めぐみ / Megumi JINGAOKA

[展覧会]

「所蔵水彩・素描展——松方コレクションとその後」、2010年2月23日-5月30日

「陰影礼賛展 国立美術館コレクションから」展、2010年9月8日-10月18日開催予定(国立新美術館)

「ユベール・ロベール ヴァランス美術館コレクションによる」展(仮称)、2012年開催予定

[執筆活動]

単著：『市場のための紙上美術館 19世紀フランス、画商たちの複製イメージ戦略』三元社、2009年

『所蔵水彩・素描展——松方コレクションとその後』国立西洋美術館・西洋美術振興財団、2010年

論文等：シンポジウム報告「国際シンポジウム『日仏芸術交流の150年』傍聴記」『日仏美術学会会報』28号、2008年、pp.58-62

「パリの国立東洋語学校と明治日本の美術交流をめぐる調査報告——シェフェール、デュ・ブスケ、蜷川式胤」『国立西洋美術館研究紀要』14号、2009年、pp.27-38

[社会貢献]

各種委員会委員等：ジャポニスム学会理事

高梨光正 / Mitsumasa TAKANASHI

[展覧会]

「古代ローマ帝国の遺産」展(主催：国立西洋美術館、東京新聞、NHK)、2009年9月19日-12月13日

[調査・研究・企画等の活動]

論文：「大プリニウスの命日」『古代ローマ帝国の遺産』国立西洋美

術館 東京新聞、2009年、pp.163-171

共著：『国立西洋美術館公式ガイドブック』淡交社、2009年

調査活動：収蔵作品調査等：個人蔵田松方コレクションの15～18世紀イタリア絵画及び素描の来歴調査および作者同定を含む美術史的調査

[その他]

国立西洋美術館新館改修工事完了に伴う作品移動および常設展示復帰作業

イギリス、ギャルピン楽器学協会員

日本ヴィオラ・ダ・ガンバ協会員

美術史学会論文査読委員

寺島洋子 / Yoko TERASHIMA

[教育普及活動]

開館50周年記念「ル・コルビュジエと国立西洋美術館展」企画・構成・実施、2009年6月4日-8月30日

インターンシップ・プログラム指導

ボランティア・プログラム指導

小・中学校教員のための夏期研修会の企画・実施

ファミリープログラム企画・実施

平成21年度 美術館を活用した鑑賞教育の充実のための指導者研修、2009年8月3-5日、東京国立近代美術館 / 国立新美術館

[研修講師]

「コレクション鑑賞教材制作・普及事業に係わるレクチャー及びワークショップ」、2009年8月18日、和歌山県立近代美術館

「国立西洋美術館の教育普及活動について」、2009年12月4日、京都工芸繊維大学

[論文・雑誌等]

「《国立西洋美術館》建設を振り返る」『ル・コルビュジエと国立西洋美術館展』カタログ、pp.58-65

[調査・研究活動]

2009年度科学研究費(基盤研究B)「国立西洋美術館を中心としたル・コルビュジエ作品の文化遺産保存活用に関する調査研究」2009年9月11-18日

[その他の活動]

2009年Fun with Collectionの準備・調査

東京大学人文社会系研究科併任助教授、2009年4月-2010年3月

武蔵野美術大学通信教育課程「造形ファイル」外部評価委員、2006年11月1日-2009年3月31日

財団法人日本海事科学振興財団評議員、2008年10月1日-2010年9月30日

村上博哉 / Hiroya MURAKAMI

[執筆]

『かたちは、うつる』展カタログ作品解説

「果てしない時間の旅」『ローマ 未来の原風景』美術出版社、2009年9月

[口頭発表]

「ミロの寡黙な絵画」、2009年11月22日(日仏美術学会シンポジウム「シュルレアリスムの時代—越境と混淆の行方」)

[その他]

東京大学大学院非常勤講師(文化資源学)
全国美術館会議企画担当幹事
文化庁「美術品等の貸借に係る諸課題に関する調査研究協力者会議」ワーキンググループ委員
美術史学会委嘱委員

[その他]

カポディモンテ美術館展(2010年開催)の準備
ラファエッロ展(2013年開催予定)の準備
本館保存活用ワーキンググループ委員
50周年記念事業「研究員が語る国立西洋美術館の50年」制作

横山佐紀 / Saki YOKOYAMA

[展覧会関係教育普及活動]

「ルーヴル美術館展——17世紀ヨーロッパ絵画」
講演会実施
先生のための鑑賞プログラム実施
障がい者のための特別鑑賞プログラム実施(協力:三菱商事)

「ル・コルビュジエと国立西洋美術館」展
講演会ほか教育普及プログラム準備・実施
展示補助
カタログ編集協力

「古代ローマ帝国の遺産」展
講演会・シンポジウム実施
先生のための鑑賞プログラム実施
作品和文リスト
作品英文リスト
会場作品解説パネル
団体向けオリエンテーション

「ローマ 未来の原風景 by HASHI」展
トークショー実施

「フランク・ブラングイン展」

講演会実施
先生のための鑑賞プログラム実施
作品和文リスト
作品英文リスト
会場作品解説パネル
会場用作品解説パネル拡大文字版制作

[調査・研究活動]

科学研究費補助金若手研究(B)「アメリカのミュージアムにおける教育プログラムの公共性と民間資金に関する基礎的研究」
ナショナル・ポートレート・ギャラリー(ワシントンDC)・メトロポリタン美術館教育普及プログラム調査、2010年2月25日-3月12日

[その他]

「FUN DAY 2009」企画・実施、2009年7月11日、12日
OPEN museumプロジェクト準備
『うえの』2009年7月号5「セイビまるごとお楽しみ! FUN DAY 2009」
執筆

渡辺晋輔 / Shinsuke WATANABE

[調査・研究活動]

在外研究(フィレンツェ美術館・文化財監督局客員研究員)、2009年9月-2010年2月

[教育活動]

お茶の水大学非常勤講師、2009年4-9月
武蔵野美術大学版画研究室特別講義、2009年5月27-28日
明治学院大学芸術学科特別講義、2009年6月12日